

あっけし

ZOOM UP

イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



曲豆 初競り 漁を願って

1月6日、厚岸漁業協同組合地方卸売市場で『初競り』が行われ、買受人や漁組職員らが参加しました。

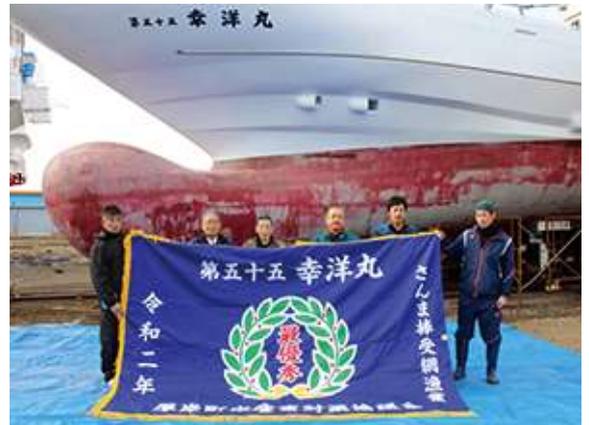
川崎一好代表理事組合長は、「昨年は大変厳しい水揚結果となったが、生産者の生産努力はもちろん、それに増して買受人皆さんの恒常的な販売努力を賜り、市場開設者として深く感謝したい。安全・安心な水産物の発信と万全な衛生管理に努め、産地市場としての責任を果たして参りたい」と述べました。

豊漁や安全操業などを祈願し三本締めを行った後、今年最初の競りが行われ、威勢の良い掛け声が飛び交っていました。

水 厚岸漁港水揚最優秀船表彰 揚最優秀船を表彰

厚岸町水産業対策協議会(会長・若狹靖町長)による『令和2年厚岸漁港水揚最優秀船表彰船』が決定されました。例年役場で行っていた表彰式は、コロナ禍の影響により中止し、12月25日に被表彰者へ表彰状と記念品、大漁旗を直接手渡しました。

【最優秀船(さんま棒受網漁業)】100ト>以上=第六十三福寿丸(福田水産)、50ト>未満=第五十五幸洋丸(幸洋漁業)、30ト>未満=第十一欣祥丸(佐藤水産)



新 妖怪アマビエオリジナルフレーム切手贈呈式 新型コロナウイルスの終息を願って

12月28日、役場町長室で『妖怪アマビエオリジナルフレーム切手贈呈式』が行われ、厚岸郵便局の林桂介局長から若狹靖町長へ、疫病を収めるといわれている『妖怪アマビエ』のオリジナルフレーム切手が贈呈されました。

この切手は、日本郵便株式会社北海道支社が新型コロナウイルス感染症の終息を願い作成したもので、北海道地方郵便局長会が早期終息への祈りを込めて、最前線に対応している地方自治体、医療関係機関に贈呈しました。